

会議の名称	西東京市介護保険運営協議会・第5回会議
開催日時	平成20年4月8日（火曜日） 午後1時から午後3時まで
開催場所	西東京市役所防災センター6階 講座室2
出席者	（委員）橋岡委員、吉岡委員、石井委員、五十里委員、岩崎委員、高岡委員、織田委員、北川委員、平山委員、中村委員、豊富委員、畠山委員、北澤委員、平野委員、陸名委員 （欠席：阿委員長、須加副委員長、齊藤委員） （事務局）福祉部長、福祉部参与、高齢者支援課長以下7名
議題	1 第4回会議録の確認 2 市民アンケート調査結果の報告 3 介護保険制度課題の整理について 4 介護保険事業計画策定スケジュール（国提示）について 5 高齢者保健福祉計画との一体的策定について 6 その他
会議資料	資料1 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（第3期）の基本目標と課題 資料2 単純集計結果から見た計画策定に向けての課題 資料3 第4期介護保険事業計画（国提示）について 資料4 第4期介護保険事業計画策定スケジュール（案） 資料5 高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の位置づけ 資料6 西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会設置要綱 別冊 西東京市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定のための基礎調査報告書
会議内容	全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録

- 1 事務局から委員の欠席報告及び委員長欠席による委員長代理選出
- 2 事務局から委員会成立の報告
- 3 委員長代理の挨拶（阿委員長に代わり吉岡委員）
- 4 開会

（1）配布資料の確認について

委員長：それではこれから第5回介護保険運営協議会を開催いたします。

まず事務局から連絡事項がございますのでお願いいたします。

事務局：事務局から報告。

新委員の紹介と委嘱状の交付及び挨拶（五十里新委員）

人事異動に伴う職員紹介と挨拶

配布資料の確認

委員長：(議題(1)第4回会議録の確認。)

それでは議題(2)の市民アンケート調査の結果について事務局より説明願います。

事務局：(別冊調査報告書に基づき第1章、第2章を説明。)

委員長：ありがとうございました。

続きまして、議題の3番目。介護保険制度の課題の整理についてですが、委員の皆さんからご提案いただきました課題、及びアンケート調査の結果について事務局から報告をお願いします。

事務局：(資料1 第3期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本目標と課題について説明。)

委員長：ありがとうございました。

今説明がありました、資料1、2についてご質問等ございますか？

(質疑応答)

委員：アンケートにある介護保険サービスの未利用者ですが、アンケートの設問には入っていないが、どういう理由でこの人たちが介護保険の認定を受けていながらサービスを利用されていないのか、市のほうで別途調査したり集計しているのであれば教えていただきたい。このへんをしっかり押さえておかないと本当に介護を必要としている方がサービスを利用していないのではと懸念する。

事務局：今のご質問は、介護認定を受けているがサービスを利用していない方がいるということによろしいですね。数字でご説明しますが、今年の2月のデータになりますが介護保険の認定を受けている方は5,836名、その内介護保険のサービスを受けておられた方が4,992名。率にしまして85.5% 約15%の方が認定を受けていながらサービスを利用していないということで、詳細については把握できていないが、一つの要因として住宅改修をしたが、その後については特に介護を必要としないといったことも考えられる。それから、介護保険サービス外の市の独自のサービスとして、介護申請した後の自立の方を対象としたサービスがあります。245ページに掲載していますが、未利用の方の報告としてご家族の方の介護があります。とりあえず介護認定は受けたけれど、当面はご家族の方の介護によりサービスを受けずに済むということです。

アンケートの結果ですが、実際に住宅改修の関係で一回限りで認定を受けていてそれ以降サービスを受けていない方もいます。

委員：最初からサービスを受ける気が無いのに介護保険を申請するということについて、それを促進する要因はあるのか？例えばケアマネジャーが申請を促すよう市の方が薦めているようなことはないのか？困ったときにはいつでもサービスを受けたいので登録しておくという方がいるが、無理やり介護認定を受けさせているということはないか？市の方で何か情報はあるのか？

事務局：市の方としては特にそういう指導はしていない。現場である地域包括支援センターからの意見があればお願いしたいが。

委員：地域包括支援センターでは健康状態や家族状態によっては申請を薦めることはある。本人の状態によってはすぐにでも必要になるが、かつ必要ではないと仰ればそのままにしておくこともある。元気であれば薦めることは無い。老人会等からの情報もあり本人の安心料として申請される方もいる。

要支援の方たちについては包括に情報が届くので情報確認し必要、不必要の判断をしている。

委員：認定を受けている方の15%がサービスを受けていないが、介護認定には費用がかかる。あくまでも認定を受ける、受けないは本人の判断なのでその点が疑問だ。

委員：サービスを使っていない方については、以前は市から更新時期になると本人へお知らせしていたが、前年度あたりから本人レベルの申請主義となっているので更新そのものは減っている現象がある。

委員：制度的には判っていても介護サービスを受けるということは大変な決心が必要。高齢者になればなるほど市や人様にお世話になるということには抵抗がある。第一段階として一番入りやすいサービスは住宅改修。そこから徐々にサービスを受けることに抵抗が少なくなっていくということを専門家が理解を示すことは必要だ。

委員長：貴重なご意見をありがとうございました。

委員：日本文化の中の介護に対する考え方は長い間家族が面倒を見てきたが、家庭の介護能力が下がってきている。ここへ来てやっと家族介護から社会介護へと移ってきた。日本では恥ずかしさや抵抗が残っている気がする。

委員長：その他意見はございませんか？

無いようでしたら、議題の(4)介護保険事業計画策定スケジュール(国提示)について事務局から説明をお願いします。

事務局：(資料3、資料4に基づき説明。)

委員長：ありがとうございました。続きまして、議題(5)高齢者保健福祉計画との一体的策定について、事務局より説明をお願いします。

事務局：(資料5に基づき説明。)

(資料6西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会設置要綱について説明し、同検討委員会を設置することを提案。)

委員長：事務局より提案のあった件につきましてご異議はございませんか？

事務局案について全員の同意があったと決してよろしいでしょうか？

それでは全員異議無しとしますので事務局よろしくお願いいいたします。

事務局：ありがとうございます。それでは資料6の第3の組織に従いご提案します。

市内に住所を有する被保険者として、畠山委員、北澤委員、平野委員、陸名委員にお願いします。学識経験者として阿 委員長、須加副委員長にお願いします。続いて、保健医療関係者又は福祉関係者から、保健医療関係として橋岡委員、五十里委員、福祉関係者として織田委員、中村委員、豊富委員、齋藤委員の計6名でお願いします。

以上12名の委員の皆様よろしくお願いいいたします。

次回以降の会議について火曜日午後1時から介護保険運営協議会を開催し、休憩を挟み引き続き西東京市高齢者保健福祉計画検討委員会を予定しています。

委員長：高齢者保健福祉計画検討委員会の委員となられた方々よろしくお願いいいたします。最後の議題として「その他」となっていますが何かございますか？

無ければこれで閉会としますが事務局から何かございますか？

事務局：次回の日程として5月13日(火曜日)午後1時から会場は防災センター6階講座室で開催します。議題としては「認知症について」皆さんからご意見を頂きたいと思っています。よろしくお願いいいたします。

閉会